



福山赤坂ロータリークラブ週報

第 464 回例会
2006 年 8 月 29 日(火)

2006～2007年度 国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド

●会 長 門田一治 ●副会長 前田真治
●幹 事 佐藤俊之 ●会 計 神原一省
●SAA 角田浩樹 ●副幹事 今井尚正
創立 1996.10.8 承認 1996.10.23

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276
事務所 福山市赤坂町赤坂 1276
TEL (084)920-4141
FAX (084)920-4140
ホームページ <http://www.fa-rc.jp>
E-mail fa-rc@aurora.ocn.ne.jp
例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

◆理事会報告

8 月予算実行状況が承認されました。

9 月プログラム 12 日、国際奉仕の担当で、松永 RC の沖 裕人様にお願い。

下宮さんの退会が承認されました。

CLP 実行委員会の件

情報集会を 9 月 26 日に行われることが承認されました。

事務局が、10 周年その他の事務時間が多いため 7 月にさかのぼり上乗せさせていただくことが承認されました。

◆幹事報告

(例会変更)

福山丸之内 RC 9 月 25 日 (月) → 9 月 24 日 (日) 16:00～

創立 10 周年記念式典 福山ニューキャッスルホテル

9 月 18 日 (月) 休会

◆委員会報告：親睦委員会

R 情報委員会

◆出席報告 ○会員数 35 名 ○出席率 68.75%

欠席者 10 名 中元さん 西さん 今井さん 佐藤(直)さん 津田さん
谷口さん 梅西さん 麦谷さん 伊藤さん 入川さん

◆スマイル BOX

入会記念祝 佐藤 貢さん 14 年 8 月 6 日
中元弘一さん 16 年 8 月 10 日

◆申告クスマイル

門田一治会長……8 月 26 日は R 財団、会員増強、CLP セミナー出席の前田さん、佐藤俊之さん、杉原さん、武田さんご苦労様でした。

佐藤俊之幹事……先週の例会を欠席して、今井副幹事をはじめ、皆様にご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。又、8 月 26 日の地区指導者育成セミナーに出席された皆様お疲れ様でした。

杉原康生さん……8 月 23 日のゴルフ同好会、再発足のゴルフ退会で優勝しました。又夜は、植おかで、うまい酒を飲み楽しい一日でした。次回は 10 月頃開催しますのでよろしくお願い致します。

菅 雪雄さん……8 月 23 日のゴルフ同好会のコンペで 2 位になり個人の握りでもいただきましたのでスマイルします

武田正敏さん……当クラブゴルフ大会にてニアピン1個いただきました。感謝 孫二人（小2、年中）で名古屋から福山に無事旅行してまいりました。その模様が名古屋テレビで放映されました。孫の成長が嬉しかったです。感謝

角田英純さん……9月26日（火）18時より情報集会を開きますので、新入会員の皆様よろしくお祈いします。又19時より懇親会を開きますので会員の皆様お忙しいとは思いますが出席の方よろしくお祈いします。

徳永雅俊さん……9月8日ゆめタウン蔵王店にプリントショップをオープンさせます。福山一号店となりますので今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

三好文行さん……久し振りにスマイルします。

武郷義昭さん……ゴルフ同好会、再発足ゴルフ大会では暑さにも負けず、武田さん、谷口さん、入川さんという良きメンバーに恵まれ最後までプレーすることが出来ました、ありがとうございました。

角田浩樹さん……先週が欠席して申し訳ございませんでした。1週間飛ばすと皆さんの顔が恋しくてたまりませんでした。

◆プログラム：会員卓話「地区指導者育成セミナー報告」

会員増強セミナー報告 杉原康生

会員増強地区セミナー報告を地区クラブ奉仕会員増強担当 松本豊彦氏よりあり、その後第4ゾーンコーディネーター西村栄時氏の講演で演題はロータリーをより長く楽しむ仕組みづくりとアンケートの集約報告がありました。内容は以下の通りです、

- 会員増強の秘訣は自分達のロータリーの心を理解しロータリーを楽しまれる組織作りをする。
- 数に注目することなく私たちのクラブに焦点をあて見直してみることも必要である。
- 家族会員をロータリーの一員にして巻き込めるようなプログラムを組み決して会員の配偶者、子供たちから会員を取りあげるような仕事を与えない。
- ベテランロータリアンは新しい会員がロータリーの活動を始め活動が続けられるような手助けをしたり、ロータリーの活動の楽しさを伝える。
- 同好会の見直しをして同好会に積極的に参加していただく
- 例会日・例会時間の見直し
- 女性会員の増強

会員増強に関するアンケート

1. クラブにおける会員増強の必要性を感じていますか？
 2. 会員増強の重要性をクラブ会員にどのように伝えてありますか？
 3. 会員候補者をどのように捜していますか？
 4. 会員の退会利用は、やむをえないもの（死亡・病気・高齢・転勤・事業所の閉鎖など）以外にどんな理由がありますか？
 5. 新会員の関心をひきつけ、クラブに定着させるためにはどんな方策が効果的と考えていますか？
 6. 会員の退会を予防し、会員数を維持し増強するためにはどのような方策が良いと考えていますか？
- 以上6項目の質問がありました。会員の皆様はどのようなお答えをされますか？

CLP 部門セミナー報告

CLP（クラブリーダーシッププラン）はロータリークラブに推奨される管理的枠組みであり効果的な、ロータリークラブのベストプラクティス（最善の実践方法）に基づいて作成されていて世界中のクラブの個々のニ

ーズに応用できる柔軟性を供えていますが、プランの採用は全てのクラブに義務付けられているわけではありませんが、各々検討して採用することによって全てのクラブにとって有用となることを説明されました。その内容は

1. 効果的なクラブの要素に取り組む長期目標を立案する。
2. 長期目標を支える年次目標を設定する。
3. クラブ会員全員が最新情報を得ていてクラブに参加していることを実感できるようにする。
4. クラブ内並びに地区との意思疎通を円滑に図る。
5. 年度から年度への指導力の継続性を保つ。
6. クラブの運営を反映するよう細則を独自に修正する。
7. 定期的な親睦の機会を提供する。
8. 全てのクラブ会員が積極的に参加する。
9. 定期的かつ首尾一貫した研修を提供する。

これらを元にロータリーの基本である綱領を念頭に置いて

- 第1. 奉仕の機会として知り合いを広めること、これを奉仕部門で表しますとクラブ奉仕の部門となります。
- 第2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること同じく奉仕部門で表しますと職業奉仕の部門となります。
- 第3. ロータリアン全てがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること、これを同じく奉仕部門で表しますと社会奉仕部門となります。
- 第4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。これをクラブ奉仕部門で表しますと国際奉仕部門となります。

これらを元に現在のクラブ運営を見直す機会としてCLPを各クラブが導入することが望ましいとの考え方で直前ガバナー永富年度、本年度岩森年度、次年度金子年度の3年で順次実施する方向であることを説明されました。

そこで地区では年内に各クラブにおいてCLPを導入し施行、査定し次年度の準備を行うようにとの依頼がありました。クラブ内では現在14委員会がありますがこれを

| | |
|---------------|------------------------|
| クラブ管理運営委員会 | プログラム、SAA 親睦に当たると思います。 |
| クラブ広報委員会 | R情報 会報・雑誌・広報 |
| 会員組織委員会 | 会員選考 会員増強・職業分類 |
| 地区奉仕プロジェクト委員会 | 職業奉仕 社会奉仕 新世代奉仕 国際奉仕 |
| R財団委員会 | R財団 |

以上がCLPによる主要5委員会でございますが、2710地区では、米山奨学会委員会があり6委員会での構成となっております。このような各委員会の構成をもって金子ガバナー年度の組織図案が配布されました。以上のような内容のセミナーでありましたので年内にCLP委員会を組織し導入の実施を行いたいと思いますので会員の皆様のご協力をお願いします。



- ◆次回例会
- 9月19日(火) 新世代奉仕委員会
 - 9月24日(日) 10周年記念事業
 - 9月26日(火) クラブ協議会 10周年に向けて